(詳細は六面に掲載)

受付中

令和八年 新春ご祈祷



創刊 昭和29年1月25日(858号)令和7年11月25日発行

愛知県犬山市 発行所 成田山名古屋別院大聖寺 話 0568 (61) 2583 代 FAX 0568 (62) 7020

毎月1回25日発行

犬山成田山





岸田照泰貫首=十一月三日、本堂にて 開創七十二周年記念大法要にて修法される

やご家庭から供養に関する相談をいた だく機会が多くあります。 に取り組んでおり、その中で全国のお寺 私は「お寺と人のご縁をつなぐ活動

にします。 間で押し付け合うなど、悲しい現実も耳 財産をめぐって家族が争い、関係が壊れ が別々に営んだり、お墓の継承権を家族 影響は供養の場面にも及び、法事を家族 てしまう事例が少なくありません。その 近年「相続」が「争族」と呼ばれるほど、

私たちを結びつけていることを実感で た者が一堂に会し、思いを共有する貴重 な営みです。法事やお墓参りは、 きるのではないでしょうか。 な時間でもあります。そこで交わされる く、世代を超えて家族の心をつなぐ大切 言葉や沈黙の中に、亡き人の存在が今も 本来、供養とは亡き人のためだけでな 遺され

げられ、 等の言葉が、メディアで扇動的に取り上 しかし現代では「墓じまい」や「直葬 十分な理解や準備がないまま

教苑

争 族 0) 家族で語り合う安心の供養時代だからこそ、

その情報に流されてしまう人も多いのが 儀社に高額な費用を請求されて戸惑うご 生前の備えをしないまま葬儀を迎え、 実情です。安易な判断の結果、 遺族もおられます。 と後悔する声も少なくありません。また、 て「やはりお墓を残しておけばよかった」 後になっ 葬

ŧ 切なのは「亡き人を敬い、家族を思いや とりが家族と語り合い、安心できる供養 紹介しましたが、何よりも皆さま一人ひ 社新書) にも具体的な事例やノウハウを 拙著『これからの供養のかたち』(祥伝 る心」を次の世代に伝えていくことです。 要な知恵やサポートを得ることができ、 家族みんなで話し合えば、それ自体が絆 か」を率直に家族みんなで語り合ってお て安心の供養につながります。 いざという時に慌てずに済み、結果とし できるお寺に早めに相談しておけば、 を深め、安心を生みます。さらに、 や家族にとってどんな供養が望ましいの くことが大切です。葬儀やお墓について だからこそ、生きているうちに「自分 供養のかたちは時代とともに変わって 心をつなぐ思いは変わりません。大 信頼 必

般社団法人お寺の未来

を形づくっていただければ幸いです。

井 出 悦 郎

代表理事

成 古屋

令和7年11月25日発行

成田山名古屋別院開創七十二年記念大祭

然不

文

き勝計を廻らし利生の益を施す霊尊なり。 伏して惟るに大聖不動明王者、慈悲を内心に秘して忿怒を外相に仮 奴僕の相を現じては行人の傍を離れず、常に加護を垂れ災障を除

護摩供の香煙絶ゆること無し 大師一刀三礼敬刻開眼し給える御尊像なり。其れより降て凡そ百三十 千八十有余年、愈々其の光を増し十方有縁の信徒踵を接して群参し、 是を以て大本山成田山御本尊不動明王は、嵯峨天皇の願により弘法 朱雀天皇の密勅により開山寛朝大僧正大霊験発光以来、茲に

の星霜を重ね、今や中京鎮護不動尊信仰の一大霊場として確固たる隆 盛を見るに至る。 各位の熱誠に応え、景勝の地たる犬山白山平を寺域と定め堂宇を建立 し成田山御本尊御分霊を勧請して開創せり。爾来、法灯茲に七十二年 顧みれば夫れ成田山名古屋別院大聖寺は、昭和二十八年、当地篤信

徒各位の絶大なる外護信援無くんば、安ぞ能く斯くの如く成らん乎。 館内エレベータ新設、 然れば来たる令和十年、名古屋別院開創七十五周年を迎えるに当た 是れ偏に、御本尊明王の霊験加護と謂うと雖も、総代並びに熱誠信 記念事業として曩に御本尊修補及び本堂耐震補強を始め、 法幸無量、誠に感謝に堪えざる処なり。 更には山容整備事業等を以て御本尊が報恩の誠 信徒会

徒安全、交通安全、被災地復旧復興を祈念し、併せて記念事業の円満 成就を懇祷す。 七十二周年記念特別大護摩供を奉修し、以て世界平和、萬民豊楽、信 仍て本日の吉辰をとし、謹んで香華を供え潔く斉莚を荘厳し、開創 を捧げ謝意を示さんと発願せり

王護念の加被力を廻して加持感応、 仰ぎ冀くは御本尊不動明王、願主が熱祷を哀愍納受し、速やかに明 霊験加護を垂れ給わんことを。

乃至法界 平等利益

維時令和七年十一月三日

大本山成田山新勝寺貫首 照 泰 敬白

創七十二 一周年記念大祭

盛儀に奉修

開創七十二周年記念大祭が奉 修されました。 十一月二日、三日の両日、

室若水庵では記念茶会が開催 されました。 ご本尊宝前に見事な御花を献 じられました。【写真下】茶 れ、古式に則った作法により 部による献華式が執り行わ 日本生花司松月堂古流尾張支 十一時の大護摩供において、 要が厳修され、また同日午前 おいて、宗祖弘法大師報恩法 二日午前十時より大師堂に

供では、世界平和、萬民豊楽、 堂にて厳修され、特に十一時 からの記念大法要特別大護摩 十五時より記念大護摩供が本 信徒安全、交通安全、並びに 三日九時、十一時、 、十三時、

> られ、大本山成田山新勝寺貫 されました。【写真一面】 被災地復旧復興が願意に掲げ 首岸田照泰大導師により奉修

住職竹島照般僧正様を始め、 川照力僧正様、成田山萬福院 本山成田山新勝寺教化部長小 別院主監鴇田照新僧正様、 樋口照喜僧正様、 僧正様、成田山川越別院主監 光院山主松平實胤大僧正様、 佐伯光瑞僧正様、 真言宗智山派東海教区教区長 僧正ご名代岡部快雅僧正様 須観音寶生院貫主岡部快圓大 れ、真言宗智山派別格本山大 縁の方々らにより埋めつくさ 講社講員など大勢の篤信、 成田山大阪別院主監金剛照祐 本堂は成田山索の会会員、 成田山福井 継鹿尾山寂 特

> 越別院、福井別院よりご随喜 教区内各山諸大徳、 田山新勝寺及び大阪別院、川 厳修されました。【写真】 こ助法を賜り、記念大法要が 大本山成

> > **椒華**式

ご名代取締役管理部長加藤 代表取締役社長石川仁志様 半七様、株式会社名鉄百貨店 役水野 明久様ご名代秘書部 会社代表取締役会長安藤隆 式会社代表取締役会長豊島 会社顧問安井香一様、豊島株 司様、中部電力株式会社相談 真樹様、 長前田謙治様、東邦ガス株式 て、信徒総代名古屋鉄道株式 記念大法要には来賓とし 参議院議員藤川政

されました。 扶桑町長鯖瀬武様がご参列 人様、 貴文様、犬山市長原欣伸様、 愛知県議会議員中村

記念大法要後、

引き続き

記念式典が開催されま 謝辞を述べました。 露の後、小豆畑主監が 述べられ、祝電のご披 代安藤隆司様が祝辞を した。先ず信徒代表総

代表者がご参列され、 社運隆昌、交通安全が 名古屋鉄道株式会社の れ、宝剣を奉納された 八方宝剣法要が営ま 日九時の大護摩供後、 殿屋上においては、三 自動車交通安全祈祷



秋の叙勲・褒章 謹んでお祝い申し上げます

元大口町消防団長 成田山索の会 丹羽支部評議員

瑞宝双光章 酒 井 孝 様



記念大法要

祈願されました。

祝

辞

名古屋鉄道株式会社代表取締役会長 成田山索の会会長 成田山名古屋別院大聖寺信徒代表総代

膝 隆 司



並びに名古屋別院第五代御住職、岸田照泰 記念大祭にあたり、信徒を代表いたしまし 奉修され、大勢のご来山ご信徒の皆様と共 開創七十二周年の記念大祭大法要が厳粛に にお祝いできますことを心よりお慶び申し 大僧正ご親修のもとに、成田山名古屋別院 日、大本山成田山新勝寺第二十二世貫首、 て、一言お祝いの言葉を申し上げます。 爽やかな秋風のもと菊花薫る今日の佳き 《田山名古屋別院大聖寺開創七十二周年

ての風格を備え、寺院仏閣としての山容相 信徒皆様のご信援を賜り、成田山別院とし 開創されました。以来御本尊不動明王の広 尊不動明王を大本山成田山新勝寺よりご勧 大無辺のご霊験はもとより、さらには、ご 請ご奉安いたしまして成田山名古屋別院が 二十八年十一月三日ここ犬山の地に、御本 さて、皆様もご承知のように去る昭和 致します

(3)

> 整いましたことは、ご信徒皆様お一人お じ上げる次第であります。 人のご信援ご信助の賜として大慶至極に存

られ、達成されてまいりました。 とご尽力とにより、これら記念事業が支え 記念事業が発願され、ご信徒皆様のご理解 加えて此まで五年毎の節目には、

申し上げます て、ご信徒の皆様には衷心より厚く御礼を しますと共に、信徒代表総代といたしまし 院詰合員の熱意とが相乗して成し遂げられ たところと存じ上げます。心より敬意を表 んのこと、ご信徒皆様の熱誠と貴名古屋別 これも御本尊不動明王のご霊徳はもちろ

りますよう切にお願い申し上げます。 されました。何卒、本日お参りいただいた 内荘厳大改修」「不動明王像・二大童子像 ご信徒皆様には更なるご協力、ご支援を賜 ター新設工事」「山容整備事業」を発願な 及び四大明王像修復」「信徒会館内エレベー り、記念事業として「本堂耐震化及び本堂 於ける成田山開基一千九十年祭大開帳奉修 ご勝縁とを二大勝縁として迎えることとな のご勝縁と、名古屋別院開創七十五周年の 来る令和十年にはご本山である新勝寺に

| 姿正が求められているのではないかと痛感 国内外で今なお多くの不幸な事件が発生 いたす次第であります。 のお導きのもとに各々が日々精進していく し、社会的な不安は益々増大しております。 今こそ仏の教えを深く心に刻み、不動明王 ひるがえって広く世間をみてみますと、

| ご健勝をご祈念申し上げ、お祝いの言葉と | 益々のご発展とご信徒皆様の一層のご多幸 明王のご加護により、 最後になりますが、今後とも御本尊不動 成田山名古屋別院の

別格本山大須観音寶生院貫主岡部快圓大僧

正ご名代岡部快雅僧正様、

真言宗智山派東

安心なる寺院づくりを進めまいる所存であ 修の整備を行い、「憩い」の祈願所、

謝

数々の 成田山名古屋別院大聖寺主監 辞 D



創七十二周年記念大祭を奉修いたしました 勢のご参拝を賜わり殊には、 並びに特縁、篤信各位、成田山索の会々員 政人様、衆議院議員武藤容治様ご名代秘書 ス株式会社顧問安井香一様、 明久様ご名代秘書部長前田謙治様、東邦ガ 藤 隆司様、中部電力株式会社相談役水野 る所、ご信徒皆様方には、公私何かとご用 の佳き日、ここに大本山成田山新勝寺貫 髙野靖章様、犬山市長原欣伸様、愛知県 締役管理部長加藤真樹様、参議院議員藤川 百貨店代表取締役社長石川仁志様ご名代取 代表取締役会長豊島半七様、株式会社名鉄 代 名古屋鉄道株式会社代表取締役会長安 首・岸田照泰大僧正ご親修のもと、堂内外 議会議員中村貴文様、扶桑町長鯖瀬武様、 ご多繁の折にも関わらず、当山信徒代表総 ご参集のご信徒皆様と共に、名古屋別院開 菊花馥郁と香り、瑞気満ちあふれる本日 言御礼のご挨拶を申し上げます。 成田山各地講社、講員各位を始め大 真言宗智山派 豊島株式会社

> 光院山主松平實胤大僧正様、成田山大阪別 海教区教区長佐伯光瑞僧正様、 各別院のご助法を仰ぎ、 照般僧正様、はじめ教区内、各山諸大徳の 長小川照力僧正様、成田山萬福院住職竹島 監樋口照喜僧正様、成田山福井別院主監鴇 より厚く御礼申し上げます。 お勤めできましたこと、誠に有り難く衷心 田照新僧正様、大本山成田山新勝寺教化部 院主監金剛照祐僧正様、成田山川越別院主 ご随喜及び成田山本山・大阪・川越・福井 厳粛且つ盛況裡に 継鹿尾山寂

畑

照

観

事」・「本尊不動明王、両童子及び四大明王 記念事業は「本堂耐震化に伴う堂内改修工 両縁を二大勝縁として慶祝し記念事業を発 只々深く感謝申し上げる次第であります。 よって、今日まで護持されて参りました。 設工事」が柱となり推し進めてまいります。 像修理修復」・「信徒会館内エレベーター新 願いたした次第であります。当山に於ける を迎える歳と相なります。このご本山との 勝縁の歳、名古屋別院は、開創七十五周年 は、成田山開基一千九十年祭大開帳奉修ご 御祝辞にも御座いました、来る令和十年 信徒皆様のご信援ご信助、篤きご信心に 法幸限りなく存じますること、これ偏にご 尊不動明王のご威徳増々顕現せられ、誠に し上げ、 寺から、ご本尊不動明王尊ご分身を勧請申 の間、護摩供の香煙絶ゆることなく、ご本 もちまして本年七十二年を迎えました。こ 月三日、この犬山を浄地に定め大本山新勝 さて、安藤信徒代表総代より賜りました 顧みますれば、当山が昭和二十八年十一 諸堂が建立されてより、お陰様を

が、何卒ご理解ご協力をお願い申し上げま 不便ご不自由をお掛け致すこととなります ります。 今後、 暫くの間ご信徒皆様にはご

ご多幸をお祈り申し上げ御礼を申し上げま 年、成田山奉賛会東海地方本部索の会とし 支部長・会員皆様の鋭意ご信援により、ご 後とも索の会の一層のご発展と会員皆様の 外護尽瘁に謝意を表する所であります。今 に永年の信心顕彰と数々の社会奉仕活動の に多大なる協賛を賜ってまいりました。茲 おめでとうございます。当山の外護信仰団 でたく五十五周年を迎えられました。誠に 名の会員を有する講社であります。本年め 表する所であります。当会は、昭和四十五 慶祝して、浄業成就を祈念し、明王門内に 本尊さまへの報恩感謝と索の会の繁栄の祈 の会々員皆様に御礼を申し上げます。ここ 実践と功業に、深甚なる敬意と会員皆様の 成に尽力を頂き、今日の当山別院隆昌発展 る砌には、必ずや会員一丸となって浄業達 体として、当山が節目くくの浄業を発願す て結成以来、三県下二十四部・千五百有余 た。茲にご披露申し上げ、甚深なる謝意を 八尺大の見事な大提燈の奉納を賜りまし 願と、来る令和十年本山・別院の両勝縁を 様、社本副会長様、 にご来臨の栄を賜りました索の会安藤会長 また、このおめでたい席をお借りして索 常務理事皆様はじめ、

らご祈念申し上げまして、御礼のご挨拶と 共に、ご本尊さまのご加護のもと、ご信徒 事万端不行届きの点お詫び申し上げますと に、厚く御礼申し上げます。皆様には、 周年記念大祭を無魔成満できましたこと 各位の一層のご繁栄並びに無事息災を心か いたします。 結びになりますが、 本日の開創七十二 諸

化による不備・不具合などの発生が目立っ

てまいりました。継続的に必要な修理・改

安全

施設・設備等などいよいよ経年劣化や老朽 また、諸堂や信徒会館をはじめとする境内

開創七十二周年記念大祭 十一月二日~三日 スナップ・フォト



















大導師・職衆

お参りされるご信徒



令和十年成田山開基一 一〇九〇年祭慶讃

開創七十五周年記念事業 成田山名古屋別院大聖寺

発 願 趣

こととお慶び申し上げます。 ご信徒の皆様には、ご本尊不動明王のご加護のもと、 益々ご繁栄

縁を二大勝縁として、ここに「開創七十五周年記念事業」を左記の如田山開基一〇九〇年祭大開帳奉修の勝縁と、当山開創七十五周年の勝るこでこの度当山では、来る令和十年四月、本山新勝寺に於ける成 節目を迎え得ますことに、深く謝意を表する次第であります。 場として開創されました。来る令和十年十一月には、開創七十五 景勝の地犬山にご本尊不動明王を勧請申し上げ、不動尊信仰の一大道。さて、当山は昭和二十八年十一月、東海一円のご信徒熱望のもと、 く発願致しました。 -五年の

ますよう、ここに謹んでお願い申し上げる次第であります。 就きましては、この浄業達成のため、絶大なるご協賛ご志納を賜

記念事業概要

本堂耐震化及び本堂内荘厳大改修

不動明王像·二 一大童子像及び

信徒会館内エレベ 四大明王像修復 新設工事

ーター

山容整備事業

稲荷堂遷座改修

憩いの場改修工事

明王門奉納大提灯設置(索の会)

令和七年五月吉日

大本山成田山名古屋別院大聖寺

ご不便ご迷惑をお掛けいたしますが、 各所にて行なっております。工事中はご信徒皆様に何かと 力の程お願い申し上げます。 開創七十五周年に向けた記念事業の工事を境内 何卒ご理解、

記念大法要後の記念写真

令和7年11月25日発行

りおみくし

教区・別院諸大徳

八方宝剣法要

+

月四日、

セイノーホー

明王門 奉納大提灯 懸吊の儀 盛儀に奉修される

十月十九日、開創七十五年

記念事業の一環として明王門

施工工事完了に伴い、小豆畑 に大提灯が御奉納され、 主監お導師のもと縣吊の

儀が奉修されました。 此度の大提灯は、成田

発展と会員皆様の息災を 索の会各支部の益々のご 法に合わせ職集が読経、 列いただき、お導師の修 索の会役員皆様にご参

ました。



その

開催されました。 を受賞された吉永尚真さん 表彰式では、成田山明王賞

セイノーホールディングス㈱

祈願祭並びに物故者慰霊法要

犬山中学校

創立七十九周年祈願祭並びに =岐阜県大垣市)において、 ルディングス株式会社

(本社

要が、小豆畑主監お導師のも

職

業 体

験

同社グループの物故者慰霊法

はじめ各グループ社長、 と営まれました。 八時五十八分より祈願祭を厳 に代表社員が参列され、 当日は同社社長田口義隆様 終了後、 物故者慰霊法要 午前 並び

四名が当山を訪れ、「職業体 市立犬山中学校二年生の生徒 生徒はお護摩を参拝し、 十月十六日、十七日、犬山 を実践されました。 ま

が厳粛に執り行われました。 学童席上揮毫大会

表彰式開催 びました。

第62回

成田山学童席上揮毫大会」の 表彰式が信徒会館ホールにて 十一月八日、「第六十二回

者に賞状と記念品が授与され 【写真】はじめ、特別賞受賞



裏千家淡交会 萩 の 茶

会

支部主催により「萩の茶会 がお茶を楽しまれました。 にて、裏千家淡交会愛知第 が開催され、多くの会員皆様 十月十九日、茶室『若水庵

み、実社会での礼儀作法を学 た抹茶接待、写経、 仏器磨きなどに真剣に取り組 境内清掃

星まつり のご案内

毎年、人にはその人の歳に相当する星が巡ってまいり

七五三まいり 十一月末まで厳修

ります。成田山ではご本尊不動明王のご宝前におきまし り、その歳の災いを除き幸せを増長する大事な儀式であ ます。星まつりは、人それぞれが相当する当年星をまつ

て、真言密教の秘法により除災招福をご祈念申し上げま

され、お不動さまとご仏縁を から十一月末日まで厳修しま 成長とご多幸をお祈りする られたお子さまの健やかなご した。大勢のお子さまが来山 「七五三まいり」を十月一日 **本年めでたく七五三を迎え**

大中小祈 札札札祷 ニー

三二一 千千千 円円円 以以以 上上上

星

御

小

札

城田花子殿

込みされた方に発送いたします

お札は二月三日より七日間ご祈祷を厳修した後、

お申



◆お申込み方法

ご記入の上、お申込み下さい。星まつりは境内各受付所にある申込用紙に必要事項を 年中いつでもお申込みいただけます。

令和八年丙午歳の運勢(かぞえ歳)

0	0			0	0	0	0	
木曜星吉	月曜星吉	計斗星凶	火曜星凶	日曜星吉	金曜星吉	水曜星吉	土曜星末吉	羅喉星凶
	No of the last	2 2 2 2	Harris 6			CO CO	The state of the s	
性急を慎むべし 日上目下の意見を聞き 欠くと損失あり 目上目下の意見を聞き 性急を慎むべし	信心怠らず精進すべし たるは なお及ばざるが如しにしてたるは なお及ばざるが如しにして	信仰厚ければ除災光明を得る 捕失離別病災等に悩む をいまかせず 至って心労多く はの星に当る人は万事憂い多き象にして	信心して堅忍自重を要す 災厄 病難等に注意すべし 必の星に当る人は疲労困憊の象にして	信心して加護を得べし 選ぶ象なれども慢心すれば大吉反って 運ぶ象なれども慢心すれば大吉反って	口舌 争論 傷害等用心すべし 似かと聴りあり ほき雲の為に清き月の光も隠るるが如く 此の星に当る人は運勢陰るの象にして	口舌 傷害等用心すべし 精めば目上の引立 赤意外な利得あり 此の星に当る人は幸運の象にして善業を	怠れば災害事憂あり して諸事準備なさば花綻ぶが如くなれど 此の星に当る人は運勢漸く開くの象に	信心堅固にして慎むべし お事慎まざれば災難あり 家内他人に諸事慎まざれば災難あり 家内他人に此の星に当る人は運勢潜む象にして
9歳	令和元年生	令和2年生 7歳	令和3年生 6歳	令和 4 年生 5 歳	令和5年生	金和6年生	2前	令和8年生 1歳
18歳	平成22年生	平成23年生	平成24年生	平成25年生	平成26年生	平成27年生	平成28年生	平成29年生
27歳	26時	平成14年生	平成15年生 24歳	平成16年生 23歳	平成17年生	平成18年生 21歳	平成19年生 20歳	平成20年生
36歳	35歳	34歳	平成6年生	平成7年生 32歳	平成8年生	平成9年生	平成10年生	平成11年生
45歳	88和58年生 44歳	43歳	42歳	41歳	40歳	39歳	平成元年生 38歳	37歳
54歳	53歳	52歳	51歳	50歳	49歳	48歳	47歳	46時
8日和39年生	昭和40年生	昭和41年生	8日和42年生	昭和43年生	昭和44年生	昭和45年生	昭和46年生	图和47年生
63歳	62歳	61歳	60歳	59歳	58歳	57歳	56歳	55歳
72歳	71歳	70歳	69歳	68時	67歳	66歳	65歳	64歳
81歳	80時	79時	78部	77部	76#	75歳	74歳	73歲
8B X0124E (#	83和13年生	83 XII 14 XE SE	昭和15年生	昭和16年生	昭和17年生	昭和18年生	昭和19年生	图和20年生
90歳	89歳	88歳	87歳	86歳	85歳	84歳	83歳	82歳
99歳	98歳	97歳	96歳	95歳	94歳	93歳	92歳	91歳
大正8年生	大正9年生 107歳	106歳	105歳	大正12年生	大正13年生	大正14年生	101歳	100歳

令和八年

令和7年11月25日発行

2026年 新春ご祈祷 事前申込みご案内

供』お護摩ご祈祷を厳修いたします。 当山では、 毎年元日より『新春特別大護摩

とをお勧めいたします。 ただき、気持ちを新たに一年を始められるこ い年でありますようご祈念申し上げます。 を加持し、新年が皆様におかれまして素晴 ご信徒皆様には、新年のご祈祷をお受けい お不動さまのご分身ご分霊であるお護摩札

受付所が大変混雑いたしますので、年内お早 予約申し込みを受付しております。年始は各 めの予約申し込みをお勧めいたします。 ただいま、各受付所において新春ご祈祷の



指護摩机

→ 御礼中 成田一郎殿童養

三千五百円以上

家

之 御礼 新成田一郎殿 菱覆 一 金

五千円以上

商

開

じ

本堂前に芳名を掲示いたします

3

一郎殿奏徒上

一 金

災

工

産

勝

一郎殿妾徒 一 金 三万円以上 一万円以上

交

1

御礼前

伊礼 第 仰礼 田 一郎殿妾徒

五万円以上

事

安全自動車



一金 三千五百円以上

旅

工

東京 (大) (成田山

金 五千円以上

金 (一万円以上は芳名を 祈祷殿内に掲示します) 一万円以上

交通安全自 転 車御守札

二千五百円以上

自転車行御守護交通安全

就

お護摩祈祷の

願

賣 業 内 場 事 難 運 通 願 繁 繁 安 消 成 成 安 安 就 全 栄 就 昌 全 全 除 全 学 息 身 当 身 安 必 海 災 業 病 12 体 延 成 命

愈

札 郵送のご案内

問い合わせ下さい。 送にて授与いたしております。 いご信徒皆様に、 ご希望の方は、 諸般の都合により参拝できな お護摩札を郵 お電話にてお

お

厚く御礼申し上げます。

この場をお借りして

納頂き、

会より大提灯を御奉

縣吊の儀を終

えることが出来ました。

索の会会員皆様に対

事

業の一環として、

開創七十五周年記念

開創七十二周年 記念大祭厳修

周年を祝しました。会員各位 には、事務局よりご祈念札を 年記念大祭が奉修されまし お授けいたしました。 索の会会員が開創七十二 月三日、 開創七十二周



支部総参拝 支部総会開催

丹羽支部 (支部

十月三日、 丹 羽 支 部

> 長=社本宮明氏)の支部 拝並びに総会を開催され

の益々のご発展と支部員皆 護摩供を参拝し、 僧正による法話を拝聴、 本堂にて成田山内の榑谷 丹羽支部

大籔法教部長の挨拶を頂戴し

開創九十二

同年記念大祭厳修

拶を頂戴し【写真】、事務局 令和七年度事業報告をし、承 からは、令和六年度事業報告・ 認されました。 続けて、社本支部長より挨 田尻記

> た。本堂では午前十時三十分 周年記念大祭を執り行いまし

一願しました。

た。 様の所願成就を祈願されまし

祷を捧げ、索の会のスローガ と丹羽支部員物故者に対し黙 ン「私たちの誓い」を唱和し、 会を実施、事務局の司会のも 大護摩供厳修後、続けて総

犬山一心支部

部長 = 川村武志氏) の総登山 が実施されました。 十月五日、犬山一心支部(支

杉浦僧正による法話を拝聴

松浦記

就を祈願されました。

大護摩供を参拝、

所願成

明王門大提灯奉納御礼





事務局よりお知らせ

欠席された索の会会員の 十一月の開創記念大祭に 与いたしております。 方で、ご祈念札をご希望 の方には、十二月末日ま で本堂右側総受付にて授

『貞奴マルシェ』 開催

奴マルシェ』が開催されまし 十月二十五日、 第四回 『貞

舞)さんによる演舞の奉納

がありそれぞれの演舞に大

学よさこいチーム

(快踊

を厳修。当日は、 保存会さんの太鼓、名古屋大 はありましたが、各務原太鼓 本堂では午前に大護摩供 小雨の中で

ました。 きな拍手が巻き起こってい いを見せた『貞奴マルシェ』 十店舗の参加を頂き賑わ

はとても好評。 ております 今後も企画したいと考え

貞奴縁起・諸芸上達・所願成就

成田山貞

〒 509-0123 各務原市鵜沼宝積寺町 5-189 電話 (058)384-0202





安藤 風季 (ソプラノ)



金光 順子 (ソプラノ)



縣 友里恵 (ピアノ)

(ソプラノ) (ピアノ)

縣友里恵 安藤風季

金光順子(ソプラノ) 午前十一時より

十月二十八日、開創九十二 | より開創記念大護摩供を厳

修

参拝信徒の所願成就を祈

奉納コンサート 午前十時半より

十二月七日(日) 開創川上貞奴女史 追善法要

貞奴忌のご案内

ご利用下さい

ご参拝時のご休憩に

12月の成田山行事

- ♪ご縁日 1日、15日、28日
- 15 ⊟ ◆ご詠歌講習会 午後1時 信徒会館 3 階
- 21日 大師堂 ◆納め大師
- ▶写経会 28日 信徒会館3階
- 28日 本堂 ▶納め不動
- ▶除夜の鐘 31日 鐘楼堂

行事は中止または内容が変更となる 場合がございます。最新情報はホー ムページ、境内掲示、お電話にてご 確認お願い致します

けています。

【評】字形良くしっかりと書

【評】力強く書けています。

ています。

◆ 場

所

信徒会館3階 九時~十四時半

◆初穂料

【評】のびのびと元気に書け

♦日

時

毎月二十八日

石川つばさ

小 五

石川きらり

冬の交通安全週間 特別ご祈祷のご案内 期間 12月1日≈10日

当山では年4回の「交通安全週間」 の主旨に賛同し、この期間中に交通 安全ご祈祷を受けられた方に「交通

安全之証」を授 与して、より一 層の交通安全の ご加護を得られ ますよう心より お祈り申し上げ ております。



交通安全之証

修行者芳名

(順不同敬称略)

港トラック成田講

稲沢市

銅 板 志納者芳名 (順不同敬称略)

名古屋市 碧南市

㈱みやび技研

め

上メッキ工業株

(8)

茶室

▼お抹茶

服五百円

九時~十五時

開庵

土・日曜

各務原市 三重県 多治見市 早 (株) TE Ā M

月

小牧市

陽

子

雅樹

㈱ナカノフドー建設

名古屋支社

奥野

并 上 英 大竹西 野内出 増教博浩 雄人行充

春日井市 江南市

犬山市

大口 岐阜市

丹羽支部

社 本

宮明

(株) G y t

成田山索の会

十月の大護摩供 池田町 あま市

加茂郡 勅使川原産業㈱ 勅使川原

名古屋鉄道㈱

㈱ブランチテクノ 舞木検査場親睦会

花升商店 市川 吉 敏 正 基樹

小牧市 名古屋市

> 株白川園本舗 田 好 則賢

> > ご祈

対待修行者芳名 の自動車特別

順不同敬称略

十月

加茂郡 杉 Щ

恒 夫

社

十 月 の 登 山 講

名古屋市 // 上島はるか 成田山金山橋講 名古屋成田講

各務原市 東近江市

株 TEAM

住友電設㈱

通信システム事業部

滋賀丸門運輸㈱

(株) TKB 丸門運輸㈱

都合上、休載いたします。 編集室より」 は紙面の

写 経

会

岐北月参講支部 金山橋講支部

名古屋成田講支部 成田山明智大教会 成田山岐北月参講 港トラック支部

恵 山 県市 港トラック成

事をお書きの上、お申 されますようご祈念いた します。御名前とお願 初穂料三百円以上 五百円以上大

護摩木祈 家内安全 願 上げし、お願い事が成就 0 み下さい。 お護摩祈祷にてお焚き 成 お 田 す す 郎